



なはセン通信

Vol. 55



なは市民活動支援センター
(那覇市民文化館まちづくり協働推進課)
〒900-0004 那覇市銘町 2-3-1
なは市民協働プラザ 2 階
(2020 年 12 月発行)



新型コロナウイルス感染症対応 「市民活動チャレンジ助成事業！」 中間報告



7・8月に交付決定した【新型コロナウイルス感染症対応市民活動チャレンジ助成事業】の12団体の活動について中間報告をします。コロナ禍だからこそ必要な事業、コロナ禍でも活動を止めるわけにいかない事業など、事業内容は様々ですが、各団体とも助成金を活用し活躍されています。令和3年2月には活動の最終報告を行う事になっており、当センターでも最後まで支援していきます。



VONS
「MUG フードプロジェクト」



多文化ネットワーク Fulful 沖縄
「那覇市多文化共生ネットワーク構築」



なは市民協議会
「ポストコロナの新しいまちづくり地域円卓会議」



STEM おきなわ
「COVID-19 第2波においても
学びを止めない教育チャレンジ事業」



災害プラットフォームおきなわ
「アンダーコロナにおける
地域防災モデル調査事業」



しんぐるまぎーず・ふーらお沖縄
「コロナ禍におけるひとり親と
子どものためのセーフティネット構築事業」



ビューロダンケ
「一千年秒物語 with コロナにおける新しい」



曙小学校区まちづくり協議会
「バーラー公民館の再開事業」



地域サポートわかさ
「わかさオンライン学習支援プロジェクト」



沖縄県脊髄損傷者協会
「新型コロナウイルス禍における
身体障がい者の地域生活影響調査」

MUG フードプロジェクト

12/19 (土) 11:00~15:00 なは市民協働プラザ 1 階

VONS によるフードドライブ「MUG フードプロジェクト」が行われます。
ご提供いただける食品がございましたら、なは市民協働プラザまでお持ちください。
また、当日ご都合がつかない方はセンター2階窓口で事前にお預かりいたします。
なは市民活動支援センター (水・日以外) 9:00~21:00 (水・日) 9:00~17:00





11月21日(土) 『コロナ禍で生まれたまちづくりを考える地域円卓会議』 実施しました！

「コロナ禍で芽生えた市民活動を新しいまちづくりのスタイルにするためには。」をテーマに、まちづくりに携わる6人の登壇者の実体験を元にお話しを展開していきました。

登壇者の沖縄大学宮城教授からは「那覇市の自治会は他市町村の郷友会から始まっている」という少し特異な成り立ちや、自治会機能を再生するためにピンチをチャンスに変える発想や行動力が重要というお話もありました。

円卓会議のファシリテーターを務められた平良氏と登壇者との掛け合いはテンポよく、明るい雰囲気が進められました。それぞれの活動の中で、コロナ禍において地域や団体、企業、行政と連携を取り、新たな協働の繋がりでボジティブに活動される見事な事例が発表されました。

「発想の転換や行動力は大いに参考になった」と参加者の方からの感想もありました。



ファシリテーター
平良 斗星氏



なは市民活動支援センター
渡嘉敷 洋美



松島自治会
西平 博人氏



国場児童館
山崎 新氏



なは市民協議会
知念 忠彦氏



STEM おきなわ
飯塚 悟氏



沖縄大学
宮城 能彦氏



センター講座「それは本当の課題ですか？」 年明け、申し込み開始！！

地域や社会の課題解決を目指した事業計画を立てる際、データ収集、調査、分析を繰り返すことで本来の課題に気づき、新しい解決策が見つかることがあります。共感を得られる企画にするために、コロナ禍だからこそ役に立つ情報整理の仕方を学びませんか？

【講座について】

- 日時：1月26日(火) 18:30～20:30(受付開始 18:00～)
- 場所：なは市民活動支援センター(なは市民協働プラザ2階)
- 講師：平良斗星氏(公益財団法人みらいファンド沖縄副代表理事)
- 対象：那覇市内で非営利活動を行う団体に所属する者。

または、これから行おうとする那覇市在住、在勤、在学の者

【申込について】

- 期間：令和3年1月5日(火) 9:00～1月18日(月) 17:00
 - 方法：申込用紙に必要事項を記入頂くか、QRコードより直接お申込ください。
- ※新型コロナウイルス感染症の状況によって、オンラインで開催する可能性もあります。その場合、各自インターネットに接続できる環境のある方に限ります。ご了承ください。



それは本当の課題ですか？
企画書を作る前にはっきりさせたいこと

コロナ対応市民活動相談事業 相談受付中！！

那覇市内のNPO・市民活動団体または、新しく市民活動を行いたいと考えている市民の相談に、多様な分野の専門相談員が対応します。お気軽にご相談ください。



【期 間】12月25日まで！(土日祝日を除く)

【実施方法】オンラインにて実施

【受託事業者】NPO法人まちなか研究所わくわく
TEL & FAX / 861-1469
E-mail / office@machiwaku.com



なは市民活動支援センターNEWS

『ソトコト』今年度4月から最新刊まで一気に届きました！2階のセンター事務室にてお手続き頂ければ貸し出し可能です！どうぞご利用ください！

多くの市民が利用する当センターにおいて、新型コロナウイルス感染者が発生した場合は全館消毒のための閉鎖を余儀なくされるため、当センターご利用におかれましては、マスクの着用、手洗いなど各自で感染症対策を実施のうえ、会議室をご利用の際には換気にご協力ください。





「知らないことは人に聞け」

を、モットーに過ごしてきたわたくし…

自分で調べると、

情報から出られなくなってしまうんです。

ですから、教えてください…

シリーズ第17弾 「何をしているトコですか?」



なは市民活動支援センター
2階支援事務室偏

沖縄県俳句協会

—「沖縄県俳句協会」とはどういった団体ですか？

俳句文芸の創造的な発展と普及を目的とした団体で、年に3回の俳句大会の開催や俳句会、吟行会、講演会などを開催しています。俳句大会の大会ごとに詠み人の名前入りの作品集も作成していますので、みなさんも楽しみなのではないでしょうか。

現在、役員も合わせて150名近い会員が在席されており、親睦会なども行っております。コロナの関係で何もかも例年通りというわけにはいかないのですが、試行錯誤しながらも活動しています。



—「沖縄県俳句協会」の目標を教えてください。

句というのは風景や情緒を規則的なリズムと言葉で表現するので、難しく捉えられる方もいらっしゃると思いますが、実はそうではなく、詠み手の気持ちが上手く伝える事ができた時の喜びはとても気持ちの良いものです。

11月24日、有志5名で仲井真小学校の3年生に俳句指導に行ってきました。沖縄の風土というものはとても独特なものです。それを沖縄の子ども達に実感してもらい、言葉で表現する楽しみを味わってほしいですね。

沖縄語学センター

—「沖縄語学センター」とはどういった団体ですか？

1963年に琉球政府によって英語教育推進のために設立された「英語センター」を前身とする団体です。

本土復帰後、何度か組織変更が行われ、英語だけでなく外国語教育を通じた人材育成を目的とした、現在のNPO法人沖縄語学センターを2011年に発足しました。

英検やTOEICといった資格取得にむけた講座から、専門的人材のネットワークを活用した言語、文化、ビジネスに特化した講座などを企画運営しています。



—「沖縄語学センター」の目標を教えてください。

外国語教育を中心とした社会教育の推進という点に堅苦しいですが、一般的な英会話教室とは異なるプログラムを持っていると自負しています。

沖縄の歴史背景からも「言語」というのはとても大切です。日本語もウチナーグチも大切にしながら、外国語にも深く触れて沖縄県民にはもっと視野を広げてほしいと思います。

これからも時代のニーズに合わせ、またこれまでの文化も大切にしたい講座を行っていききたいと思います。

なは市民活動支援センターの2階事務室に入居する6団体への取材をさせていただきました。ご協力くださいました皆さま、ありがとうございました。

さて来年1月からは同じく、なは市民活動支援センター2階の支援ブースに入居されている16団体の皆さまの活動について紹介させて頂きたいと思います！





助成金等情報

一般社団法人 沖縄しまたて協会/ 令和3年度第17回 NPO 等活動支援事業

募集期間：2020年12月28日(月)

内 容：活動事業に関する支援金額は50万円/件(上限額)

助成対象：沖縄しまたて協会の NPO 等活動支援事業は、公益の推進と地域の発展に寄与することを目的に、NPO 等が実施する地域社会づくり等の活動を支援しています。
令和3年度は特別支援として「新しい生活様式」の普及・啓発活動を支援します。

① 地域づくり ② 環境保全 ③ 防災・災害救援 ④ 新しい生活様式の普及・啓発活動支援

【お問合せ】一般社団法人 沖縄しまたて協会 企画部企画課 TEL:098-879-2087 FAX:098-874-5301

URL <http://www.shimatate.or.jp>

沖縄県労働金庫/ ろうきん・わたしたシマづくり運動

募集期間：2021年1月31日(日)

内 容：会員代表、有識者で構成する委員会によって、寄付する団体を選定し寄付金額。寄付期間を決定します。

助成対象：原則として、主たる事務所が沖縄県内にある非営利団体等とします。

【お問合せ】沖縄県労働金庫 経営統括部 TEL:098-861-1196

URL <https://www.okinawa-rokin.or.jp/sp/>

※最新の情報や詳細は、各お問合せ先の応募要項を必ずご確認ください。

感染症拡大予防ガイドラインにより、収容人数は表示人数の概ね半程度とされています



駐車料金	☆基本料金	
	最初の1時間まで	300円
	最初の1時間を超え30分ごとに	100円
	☆市民活動目的の場合(減額適用)	
	最初の2時間まで	100円
	最初の2時間を超え1時間ごとに	100円

2020年3月より、なは市民協働プラザの駐車場は有料となりました。

お問合わせ なは市民活動支援センター
〒900-0004

那覇市銘苅 2-3-1 なは市民協働プラザ 2階
TEL: 098-861-5024 / FAX: 098-861-5029
メール: C-KATU005@city.naha.lg.jp



会議室 料金一覧表

会議室①	84人	¥1,300/1h	¥400/1h
会議室②	36人	¥650/1h	¥200/1h
会議室③	45人	¥650/1h	¥200/1h
会議室④	18人	¥200/1h	¥100/1h
会議室⑤	15人	¥200/1h	¥100/1h
会議室⑥	15人	¥200/1h	¥100/1h
会議室⑦	12人	¥200/1h	¥100/1h
会議室⑧	24人	¥250/1h	¥100/1h
研修室①(和室)	16人	¥200/1h	¥100/1h
研修室②	17人	¥200/1h	¥100/1h

印刷機 使用料

白黒・A3サイズ以下	¥1/枚
カラー・A3サイズ以下	¥4/枚

※内容確認のため、原則として印刷物の一部提出をお願いしております。
※印刷用の用紙もお持ちください。
※USB等のメディアからは直接印刷はできません。

